

米国からは、1991年の湾
は不可能と断った。そのたび
最小限必要

「安全保障は外交と軍事が
両輪で、そのバランスが大切
です。今は対中国、対韓国、
対北朝鮮の外交に大きな穴が
開いている。集団的自衛権の
議論よりも、中国との衝突を
回避するため、防衛当局間の
ホットラインを作るなど、外
交努力を優先するべきです。
安倍首相は5月15日の記者



つじもと・きよみ 社民党所属時代から論客として知
られ、鳩山内閣で国土交通副大臣に就任。2011年9
月、民主党入りし、菅内閣で首相補佐官。早大在学中に
NGO「ピースポート」を設立した。衆院比例近畿。当
選5回。54歳。

辻元清美 民主党衆院議員

会見で、日
本近隣で有
事が起き、
避難する邦人に乗せた米艦を
自衛隊が防護できないという
事例をパネルで示し、集団的
自衛権の行使容認の必要性を
訴えました。
しかし、私が
入手した資料
では、米国は
各国に対し、
自国民の避難は自分の国で行
うように求めています。米艦
が邦人を運ぶことがあり得る
のでしょうか。

会見で、日
本近隣で有
事が起き、
避難する邦人に乗せた米艦を
自衛隊が防護できないという
事例をパネルで示し、集団的
自衛権の行使容認の必要性を
訴えました。
しかし、私が
入手した資料
では、米国は
各国に対し、
自国民の避難は自分の国で行
うように求めています。米艦
が邦人を運ぶことがあり得る
のでしょうか。

私は長く民間活動団体(N
GO)で活動し、紛争地も多
く経験しました。我々の常識
責任ではないか。

では、敵の
攻撃対象と
なる軍の船
に避難民を乗せることはかえ
って危険です。政府は米艦防
護など15事例を示し、憲法解
釈の見直しの必要性を説明し
ていますが、説得力を感じま
せん。事例があたかも迫り来
る危機のように喧伝する安倍
さんには、憤りすら感じます」
——民主党は集団的自衛権
の是非の結論が出せない。無
責任ではないか。

憲法考

改正堂々と挑むべきだ

「いま党内で議論中です。
いい加減な議論で決められる
話ではない。党内には、集団
的自衛権の行使容認に賛成す
る意見もありますが、私は反
対の論陣を張りたい。必要最
小限度であろうと、戦争に『ち
減状態ですよ。日本はやはり、
攻められたら守ることに徹す
る。それが、最大の安全保障
です。』
憲法解釈の見直しで、集団
的自衛権の行使を容認する
ことも立憲主義から問題で
す。自民党は
『解釈がここ
ころ変わるこ
とはない』と
説明していま
すが、解釈を変えていいな
ら、私が首相になったら、再
び解釈を変えますよ。安倍さ
んは、時間がかかっても、堂
々と憲法改正に挑戦するべき
です」
(聞き手・須藤有基)